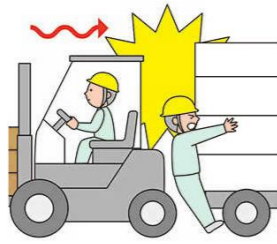


❖災害事例❖

事例①

トラックの荷積み作業をしていた労働者が、後退してきたフォークリフトとトラックの間に挟まれて死亡した。フォークリフトの運転者はトラックは視認していたが、被災者の存在には気づいていなかった。



原因

- ・誘導員を配置せずに運行経路内に労働者を立ち入らせたこと
- ・作業計画を定めていなかったこと

事例②

製品倉庫内でシャッターの修理を行っていた労働者が、エンジンをかけたままマストと運転席ヘッドガードの間を通過してパレット上に移動しようとしたところ、身体の一部が操作盤に触れ、マストが動いたことから、当該部分に挟まれて死亡した。



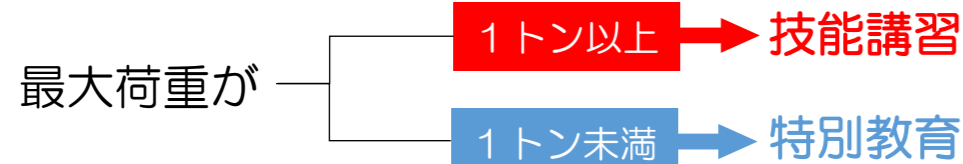
原因

- ・エンジンをかけたまま運転席を離れたこと
- ・運転席以外に搭乗したこと

事例出典：職場のあんぜんサイト

資格

フォークリフトは最大荷重によって必要な資格が変わります。事業主の皆さんは、フォークリフト運転者が必要な資格を有しているか確認し、有資格者一覧表などを作成することが望ましいです。



フォークリフト資格者			
1	○	○	○
2	○	○	○
3	○	○	○
4	○	○	○

資格
ヨシ!

検査

1年以内ごとに1回、1月以内ごとに1回、検査を実施し、その結果を3年間保存しましょう。また、日々のフォークリフト使用前にも作業開始前点検を実施し、点検記録を作成しましょう。

検査がおわったら



6	XX	7
5	済	8
4	特定自主検査	9
3	No.	10
2		11
1		12



見やすい場所に
検査標章を
貼りましょう

お役立ちサイト

安全衛生に関する総合情報・・・

職場のあんぜんサイト



リーフレット等はこちら・・・

厚生労働省 安全衛生関係リーフレット等一覧



危険! そのフォークリフトの 使い方合ってますか?

事業主の皆様へ

制限速度を定めましょう

作業場所の地形、地盤の状態などに応じて適正な制限速度を定め、それにより作業を行いましょう。

- ! 転倒
- ! 激突



転落を防止しましょう

運行経路において、必要な人員を配置すること、路肩の崩壊を防止することなど措置を講じましょう。

- ! 墜落
- ! 挟まれ
- ! 巻き込まれ

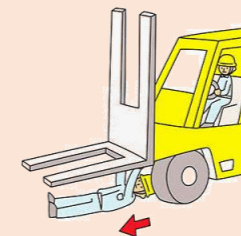


このような災害が発生する可能性があります

立入禁止区域を定めましょう

フォークリフトに接触する可能性がある場所や荷の下に労働者を立ち入らせてはいけません。

- ! 激突
- ! 挟まれ
- ! 巻き込まれ



運転席から離れるときは

フォークは一番下、エンジン停止

意図せず動くことを防ぐため、必ず停止状態を保持しましょう。また、無資格者が運転しないよう鍵の管理は適切に行いましょう。

- ! 無資格運転
- ! 激突



用途外使用の禁止

フォークリフトを荷の吊り上げや労働者の昇降などのために使用してはいけません。

- ! 墜落
- ! 激突
- ! 挟まれ
- ! 巻き込まれ



最大積載荷重を守りましょう

過荷重の荷を積んだ場合、荷の揺れなどによりフォークリフトが転倒する場合があります。

- ! 転倒
- ! 激突
- ! 挟まれ
- ! 巻き込まれ



上記の他にも

- ・誘導者を配置する場合は合図を決めること
- ・偏荷重を防止すること
- ・損傷のあるパレット等は使用しないこと

なども守る必要があります。

作業計画

事業者はフォークリフトを用いて作業を行うとき、あらかじめ、

①作業場所の広さ及び地形、②フォークリフトの種類及び能力、③荷の種類及び形状等に適する作業計画を定める必要があります。

また、この作業計画は労働者に周知し、実際に作業を行うときは作業指揮者に指揮を行わせましょう。

実際に作業計画を作成してみましょう！

〈任意様式〉

フォークリフト作業計画 (労働安全衛生規則第151条の3に基づく)

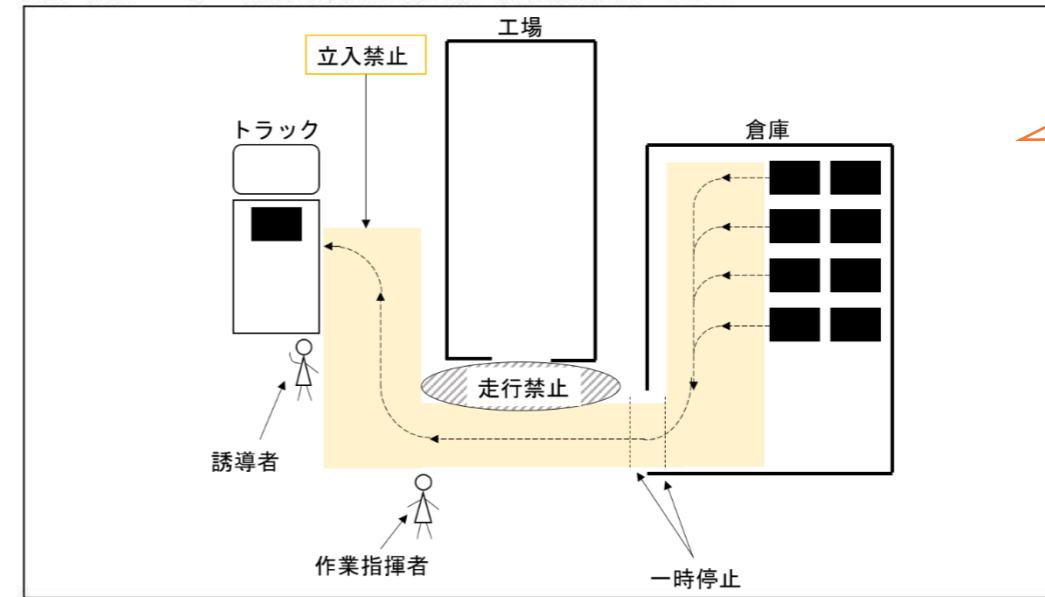
社内審査 確認印	事業主	安全管理者等	作業指揮者	フォークリフト 運転者
	印	印	印	印 印

1.作成年月日	令和 3年 4月 22日	2.計画作成者	安全 太郎	3.作業名	製品出荷作業
4.作業の具体的内容 (荷の運搬工程等を記入する)					
5.実施期間	令和 3年 5月 6日(木)曜~令和 3年 9月 30日(木)曜	6.作業人数	5名		
7.作業時間	0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24				
8.荷	品名	荷姿	形状	個数	1個の重量
	大豆	コンテナ	四角柱	1回20個	1.5トン
9.荷の状況	イ.はい積 ロ.バラ積 ハ.その他()			移動させる距離 (30)m	
10.作業指揮者 (安衛規則第151条の4)	氏名	職制上の地位	当該作業の経験年数	フォークリフトの知識	
	〇〇 〇〇	班長	10年	有・無	
11.フォークリフト 運転者	氏名	技能講習修了番号	資格取得年月日	当該作業の経験年数	
	〇〇 〇〇	第 1234 号	平成30年10月1日	2年	
	〇〇 〇〇	第 5678 号	平成25年6月20日	5年8か月	
12.フォークリフトの 種類・能力・ 点検状況	車両番号	能力 (最大荷重)	作業開始前 点検状況	月例検査実施状況 (安衛規則第151条の22)	特定自主検査実施日 (安衛規則第151条の21)
	GTR-1122	2.1t	良・否	令和 3年 4月 10日	令和 2年12月 1日
	GTR-3344	2.1t	良・否	令和 3年 4月 10日	令和 2年12月 1日
			良・否	令和 年 月 日	令和 年 月 日
13.パレット等の 能力点検状況	荷の重量に応じた十分な強度		割れ・ひび・変形の有無		釘等突起物の有無
	良・否		良・否		良・否
14.作業場所状況 (作業図に必要に 応じて記入する)	作業場所の広さ	イ.十分に広い ロ.広い ハ.やや狭い ニ.非常に狭い			
	路面状況	イ.舗装 ロ.砂利敷 ハ.土間		場所区分	イ.屋内のみ ロ.屋外のみ ハ.屋内外
	坂道等傾斜	有・無		作業床面段差等	有・無
	走行路幅員狭小箇所	有・無		高さ制限箇所	有・無
	路肩危険箇所	有・無		一旦停止の必要箇所	有・無
15.制限速度 (安衛規則第151条の5)	当該作業に係る場所の地形・地盤の状態等 に応じた適正な制限速度		当該作業場所における制限速度掲示の有無		
	(20)km/時		有・無		
16.誘導者	配置の有無	氏名	合図の定め	退避場所	
	有・無	〇〇 〇〇	有・無	有・無	

誘導者を配置するときは合図を定めましょう

17.フォークリフト作業図

- ①フォークリフトの運行経路を図示すること
- ②周辺労働者の立入禁止箇所及びフォークリフトの走行禁止箇所を具体的に記載すること
- ③各種標識・一旦停止・作業指揮者及び誘導者の配置場所を記入すること



立入禁止)範囲
走行禁止
作業指揮者)位置
誘導者
を明示しましょう

18.作業開始前・作業中の留意事項と確認(この欄はフォークリフト運転者が記入)

留意事項	確認欄
①保護帽・安全靴等保護具を正しく着用する	✓
②シートベルトを着用する	✓
③フォークリフト運転技能講習修了証を携帯する	✓
④作業開始前点検を確実にを行う	✓
⑤作業場で定められた制限速度以内で走行する	✓
⑥他の作業者に接触するおそれのあるときは、立入禁止にするか、誘導者を配置する	✓
⑦走行時は、進行方向及び側方の安全を常に確認する	✓
⑧フォークまたは荷の下に作業者を立ち入らせない	✓
⑨許容荷重を超えた荷を積載しない	✓
⑩急発進・急停車・急旋回をしない	✓
⑪運転席を離れるときは、作業や通行の障害とならないよう駐車する。鍵を必ず抜くこと。	✓
⑫駐車ブレーキを確実にかけ、輪止めをする	✓
⑬運転中は乗車席以外に人を乗せてはならない	✓
⑭フォークの上に人を載せて昇降機として使用してはならない	✓
⑮フォークの先端をてこ代わりに使用したり、他の車両を押ししたりしてはならない	✓

作業開始前に
確認すべき事項を
定めましょう

また、異常箇所が
ないか作業開始前
点検をする必要も
あります

作業計画内容は
関係労働者に周知
しましょう

19.関係労働者への周知

サイン欄



定期的に見直して
実態に合っている
か確認しましょう

作業計画に従って
作業指揮者に指揮
を行わせましょう

資格取得状況を
確認しましょう
詳しくは次ページ

検査は実施して
いますか?
詳しくは次ページ

否である場合は
使用できません

転倒や転落の
可能性はありませんか?

制限速度を
定めましょう